

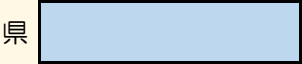
●狩猟免許及び鉄砲所持補助等

【例1】合計90,000円掛かった場合。(市)90,000円の1/2は45,000円、市の補助金の上限50,000円以下のため、市の補助金は45,000円となる。(県)市の補助金が45,000円であったため、90,000円から45,000円を引いた45,000円が県の補助対象経費であるが、50,000円以下のため、県の補助金は45,000円となる。
【例2】合計110,000円掛かった場合。(市)110,000円の1/2は55,000円、市の補助金の上限50,000円以上のため、市の補助金は50,000円となる。(県)市の補助金が50,000円であったため、110,000円から50,000円を引いた60,000円が対象経費であるが、上限が50,000円のため、県の補助金は50,000円となる。



補助対象経費の1／2

上限 50,000円



市からの補助額を引いた後の補助対象経費に対して

上限 50,000円

合計 上限100,000円

(補助対象) 狩猟免許試験申請手数料・医師の診断書料・猟銃等講習会手数料・射撃教習資格認定申請手数料・射撃教習用実包購入費・猟銃所持許可申請手数料・狩猟者登録手数料・狩猟税・猟友会費・ハンター保険料・狩猟免許事前講習会受講料・戸籍抄本手数料・身分証明書手数料・住民票手数料・猟銃要火薬類等譲渡許可申請手数料・写真代・射撃教習費など

●猟銃購入補助（散弾銃等の場合）



補助対象経費の1／3

上限 30,000円



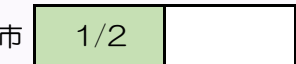
市からの補助額を引いた後の補助対象経費に対して

上限 100,000円（ライフル銃は150,000円）

合計 上限130,000円

(補助対象) 散弾銃（中古は可、個人売買やネットオークション等は不可）・ガンロッカー・装弾ロッカー・銃力バーケース・スリング・洗い矢・潤滑油・弾帯など

●わな猟免許補助



補助対象経費の1／2

上限 20,000円

合計 上限20,000円

(市の補助対象) 免許試験申請手数料・狩猟者登録手数料・狩猟税・猟友会費・保険料・医師の診断書など

【市の各補助の条件】8年間は、猟友会を脱退しない、鳥獣捕獲業務に従事する、猟銃を売却しない